

頻発する激甚災害からの人間の復興

—被災者・被災地の尊厳を守るために

日程：2026年1月10日（土）～11日（日）

会場&オンラインのハイブリッド開催

日本は人口減少・超高齢化により地方消滅という未曾有の課題に直面している。このような構造的脆弱性を抱えた地域で発生する激甚災害は、従来の災害復興の前提を根本から覆している。能登半島地震では、従来の避難者支援や災害ボランティアが通用しない厳しい現実が浮き彫りになった。これには制度的な問題に加え、少子高齢化や過疎化などの被災地の状況が深く関わり、これは日本全国に共通する課題である。また、東日本大震災から15年となる現在も、福島復興は未だ途上にある。一方で、これらの困難な地域において復興に尽力する多くの方々がおり、その活動は本研究所の理念である「人間の復興」に繋がるものである。本フォーラムでは、頻発する激甚災害の被災者及び被災地の尊厳を守る様々な取り組みに学び、復興知の共有を通して、「人間の復興」のあり方について考えたい。

1月10日（土）13:00～17:30

場所：関西学院会館レセプションホール
（総合司会：羅 貞一 関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員）

全国被災地交流集会・円卓カフェ

「ともに語る『人間の復興』
～被災者・被災地の尊厳を守る復興知の共有～」

所長の山 泰幸が長年地域で実践をしてきた「哲学カフェ」の形態で「円卓カフェ」として実施予定。「哲学カフェ」とは、フランスのパリが発祥の地で、毎週日曜日の午前、喫茶店に自由に人々が集まってコーヒーを飲みながら、自由にいろいろなテーマで議論をする場のことで、現在、日本各地で開催されている。今回は、「頻発する激甚災害からの人間の復興・被災者・被災地の尊厳を守るために」をテーマに、哲学カフェ方式で、復興知の共有を通して、「人間の復興」のあり方について語り合うことにしたい。

□第一部 被災者・支援者にとっての尊厳

□第二部 研究者が考える被災者・被災地の尊厳

司会・山 泰幸
（関西学院大学災害復興制度研究所長・人間福祉学部長）

申し込み方法（参加無料）

裏面のQRコードにてお申し込みください。

1月11日（日）13:00～17:30

場所：関西学院会館レセプションホール
（総合司会：羅 貞一 関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員）

シンポジウム

「頻発する激甚災害からの人間の復興
—被災者・被災地の尊厳を守るために—」

（敬称略）

■特別講演「防災・復興と尊厳の問題」

加藤 泰史 旭山女学園大学外国語学部国際教養学科教授／一橋大学名誉教授

■基調講演「被災地・被災者の尊厳から問い直す人間の復興」

山 泰幸 関西学院大学災害復興制度研究所長・人間福祉学部長

■パネルディスカッション

<パネリスト>

山 泰幸 関西学院大学災害復興制度研究所長・人間福祉学部長

関谷 雄一 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻教授

矢野 淳 株式会社MARBLING 代表取締役

南 正昭 岩手大学大学院総合科学研究科地域創生専攻専攻長・教授

有馬 尚史 『風が灯るころ ～奥能登、珠洲の記憶～』監督

<コーディネーター>

岡田 憲夫 京都大学名誉教授／関西学院大学災害復興制度研究所顧問

関西学院大学 災害復興制度研究所

関西学院大学 災害復興制度研究所 「2026年復興・減災フォーラム」 参加申し込みフォーム

参加をご希望の方は、**1月6日(火)**までに以下の方法にてお申し込みください。

※両日とも座席数に限りがあるため、事前のお申し込みがない場合はご入場いただけないこともございますので、ご了承ください。
※お申し込みいただいた個人情報は本学の関連業務以外に使用することはありません。

QRコードまたはURLでのお申し込み

参加ご希望の方は、QRコードまたは下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/ud70wSR4Sg>

※オンライン参加も可能です。(URLは後日配信します。)



西宮上ヶ原キャンパスMAP



災害復興制度研究所は、2005年1月17日、阪神淡路大震災からちょうど10年の節目に誕生しました。人文・社会科学を中心にした「復興」制度の研究に焦点を合わせる点では全国唯一の研究所です。

お問い合わせ：関西学院大学災害復興制度研究所
TEL.0798-54-6996 E-mail: fukkou-entry@kwansei.ac.jp

※この事業は「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」補助金を財源とする「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて事業を行っています。

